

北海道大学広域複合災害研究センター開所式を挙

【概要】

北海道大学は、効果的な減災に資する教育研究の促進や減災ガイドラインの策定、人材育成のため、平成 31 年 4 月 1 日付で「広域複合災害研究センター（Center for Natural Hazards Research）」（学内共同施設）を設置しました。

この度、同センター設置の背景と目的、活動計画の概要などについて広く情報提供を行うため、開所式を挙

【趣旨】

近年我が国では豪雨や地震が頻発しており、山崩れ、洪水氾濫、津波、地盤沈下など様々な現象が複合して、広域に渡り自然災害が発生する傾向にあります。自然災害では、人命や財産、土木施設など住民の生存基盤にとどまらず、農林畜水産業や電力・水・交通網などの産業基盤に大きな被害が生じます。北海道でも、平成 28 年には北海道豪雨により、また平成 30 年には北海道胆振東部地震により、広域複合災害が発生しました。北海道は、我が国の食料生産基地であるにもかかわらず、一極集中・過疎化という第一次産業の空洞化を示す地域で、災害に対する脆弱性は我が国の社会経済にも大きな影響を及ぼします。

北海道大学は、こうした現状を踏まえ、平成 31 年 4 月 1 日付で「広域複合災害研究センター」を設置しました。開所式では、センター設置の背景と目的、活動計画の概要などについて説明します（詳細は p3 参照）。

【日 程】 平成 31 年 4 月 16 日（火） 13：00～17：00（12：30 開場，17：30～ 情報交換会）

【場 所】 北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟 2 階 レクチャーホール
（札幌市北区北 13 条西 8 丁目） 地下鉄南北線「北 12 条」駅より徒歩 11 分

【主 催】 北海道大学広域複合災害研究センター

【対 象 者】 大学，関係行政機関，関係民間機関，一般市民 約 150 人

【参 加 費】 無料

【言 語】 日本語

【申込方法】 事前申込不要。直接会場へお越しください。

【その他】 情報交換会は、ホテルマイステイズ札幌アスペン 2 階 アスペン A（札幌市北区北 8 条西 4 丁目 5 番地）で開催します。参加を希望される方は、以下申込先へ氏名・所属を明記の上、4 月 12 日（金）までにメールでお申し込みください。（会費 5,000 円）

≪ 申込先 ≫ 北海道大学広域複合災害研究センター准教授 厚井高志
メール：cnhr@cen.agr.hokudai.ac.jp

【プログラム】

全体進行：厚井高志（北海道大学広域複合災害研究センター 准教授）

13：00～13：10 挨拶・感謝状贈呈

13：10～13：40 来賓挨拶

13：40～14：00 センター長挨拶

「広域複合災害研究センター研究，人材育成・アウトリーチ活動」

山田 孝（北海道大学広域複合災害研究センター長）

14：00～14：30 特別講演 1「近年の自然災害と北海道の脆弱性」

丸谷知己（北海道立総合研究機構 理事）

14：30～14：40 休憩

14：40～15：10 特別講演 2「災害の複合化・激甚化に向けた次世代防災技術者の確保と育成」

南 哲行（一般財団法人砂防・地すべり技術センター 理事長）

15：10～15：40 特別講演 3「航空測量・建設コンサルタント業界から大学に期待すること」

小川紀一郎（アジア航測株式会社 代表取締役社長）

15：40～15：50 休憩

15：50～16：55 センター教員からの研究紹介

岡田成幸（北海道大学広域複合災害研究センター 特任教授）

16：55～17：00 閉会挨拶

笠井美青（北海道大学広域複合災害研究センター 副センター長）

17：00 閉会

お問い合わせ先

北海道大学広域複合災害研究センター 准教授 厚井高志（こういたかし）

T E L 011-706-3882 メール cnhr@cen.agr.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

【広域複合災害研究センターの概要】

(1) 設置の目的

本センターでは、地盤変動の活発化と気候変動によって近年激増しつつある自然災害に対して、現象論的な専門分野に偏ることなく、地域の特性と人間活動とを反映した災害予測・軽減対策を研究し、その成果を大学院生や官公庁、民間企業の技術者へのリカレント教育及び地域社会のリーダー育成に生かしていくことを目的としています。

本センターは、学内共同施設（研究施設）として位置付けられ、基本的には寄附金により運営されます。本センターでは基礎的研究と、自治体・民間等の需要に応えられる応用的研究の両方を融合し、これらの総合的研究によってより実践的な防災対策を対外的に提案できる組織とします。また、異分野融合を柱として災害研究を行い、農，工，理，文，経済および公共政策などの多面的なアプローチを特徴として、その成果を大学院レベルでの教育に活かす人材育成機能も持たせます。

(2) 活動内容

本センターは、以下の3つの柱に基づき活動します。

- ① 広域複合災害の事前（予防・予測） → 発生時（緊急時対応） → 事後（復旧・復興対応）を一貫したアウトリーチにも重点をおいて研究を行う「研究開発」
- ② 大学院共通授業科目の実施，防災に係る研究者の人材育成，社会人（防災担当者）の再教育などの「防災教育」
- ③ 道庁や市町村，市民などに対する平常時の防災知識の普及，緊急時の専門的な助言などの「社会貢献」

(3) 組織

研究スタッフ 28名（北海道大学学内24名，学外4名）（平成31年4月1日現在）

- センター長：総括
- 副センター長（広域複合災害研究部門担当）
- 副センター長（人材育成・アウトリーチ担当 後日着任予定）

副センター長（広域複合災害研究部門担当）の下に、以下の3つの研究チームを置きます。

1) 気象災害研究チーム

風水害・雪害・土砂災害等の、主に気象的原因によってもたらされる現象の複合的被害を軽減するための研究，人材育成を行います。

2) 地象災害研究チーム

地震・津波・火山噴火・都市災害等の、主に地象的原因によってもたらされる現象の複合的被害を軽減するための研究・人材育成を行います。

3) 地域被害研究チーム

広域的・複合的な自然災害が、経済活動を含む地域社会に与える影響と、その軽減策に関する研究・人材育成を行います。必要に応じて、気象災害・地象災害の両部門にまたがる事案等についての調整も行います。

また、各チームの研究成果を反映して、自然災害に強い21世紀型の社会を創生するための国土計画，減災対策，産業配置構造などの面から強靱化社会創生に関する研究・人材育成を行います。

(4) センター事務局設置場所 北海道大学農学部本館 N307室, N372室



広域複合災害研究センター 開所式を挙

近年我が国では、豪雨や地震、火山噴火、暴風雪等により山崩れ、洪水氾濫、津波、地盤沈下、吹雪など様々な現象が複合的・広域的に発生し、人命・財産・土木施設など住民の生存基盤にとどまらず、農林畜水産業や電力・水・交通網などの産業基盤にも大きな被害を及ぼしています。こうした現状を踏まえ、北海道大学では、効果的な減災に資する教育研究の促進や減災ガイドラインの策定、人材育成のために、平成31年4月1日付で「広域複合災害研究センター」を設置いたしました。つきましては、開所式を下記の通り挙

＜日時＞平成31年4月16日(火) 13:00～17:00 (開場12:30)

＜会場＞北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟2F
レクチャーホール(札幌市北区北13西8)

入場無料

＜プログラム＞

開会挨拶・感謝状贈呈

来賓挨拶

研究、人材育成・アウトリーチ活動

広域複合災害研究センター センター長 山田 孝

特別講演 「近年の自然災害と北海道の脆弱性」

北海道立総合研究機構 理事 丸谷 知己

特別講演 「災害の複合化・激甚化に向けた次世代防災技術者の確保と育成」

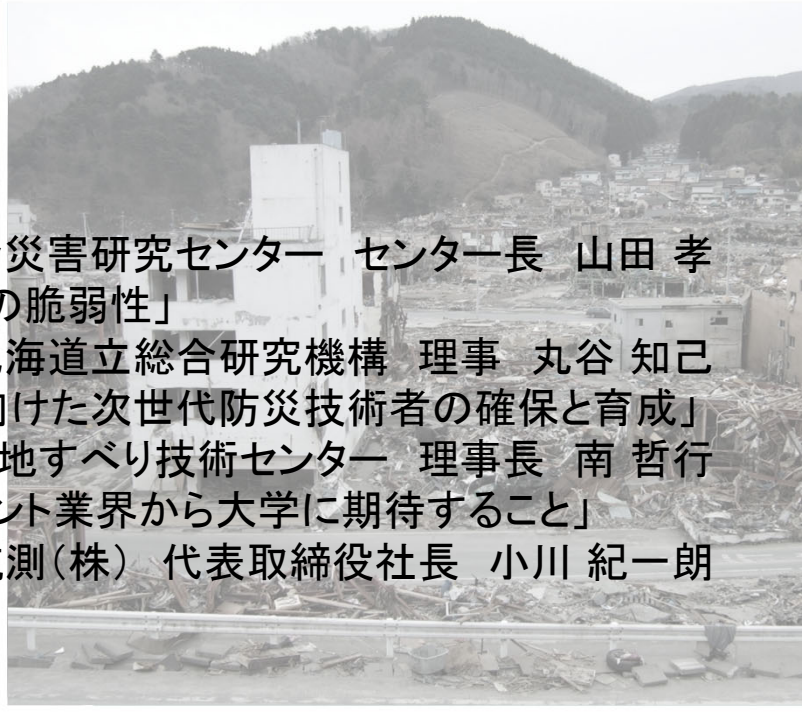
(一財)砂防・地すべり技術センター 理事長 南 哲行

特別講演 「航空測量・建設コンサルタント業界から大学に期待すること」

アジア航測(株) 代表取締役社長 小川 紀一郎

センター教員からの研究紹介

閉会挨拶



- ・定員には限りがあるため、参加希望多数の場合はお断りすることがあります。
- ・開所式終了後、下記の通り情報交換会を開催します(会費5,000円)。参加希望の方は下記申込先に4月12日(金)までにメールにて事前登録をお願いします。

時間: 17:30～19:30

場所: ホテルマイステイズ札幌アスペン 2階アスペンA(札幌市北区北8条西4丁目5)

- ・申込/問い合わせ先: 広域複合災害研究センター 厚井 高志

TEL 011-706-3882 メール cnhr@cen.agr.hokudai.ac.jp